

## ＜平成22年度 きたかみ景観資産 一覧＞

No.	名称	所在地	団体名	現在の景観づくりに関する活動	景観の内容
54	堤ヶ丘 桜パーク	堤ヶ丘二丁目地内 堤ヶ丘緑地内	黒沢尻1区自治会	年4回住民が総参加で草取り等の清掃作業を実施	昭和32年県立北上農業学校本舎竣工の記念樹として桜を植栽し、その桜の並木によって良好な景観を保っている
55	国体記念樹「枝垂れ桜」	常盤台1-7 常盤台児童公園内	黒沢尻21区自治会	年3回住民が総参加で草取り等の清掃作業を実施	昭和45年岩手国体の開催を記念して植樹された枝垂れ桜であり、満開時は見事に円錐状に花を咲かせ、良好な景観がつけられている
56	岩崎新田神楽 ため池周辺	和賀町岩崎新田 神楽1-18、1-24	新田2区自治会	岩崎農場の守護神である神社の保全と環境整備 年2回住民が総参加で草取り等の清掃作業を実施	岩崎農場神社のため池を中心とした参道は地域住民の整備によって、良好な景観を保っている
57	鹿島神社神宮殿	鬼柳町満屋51-1	鬼柳町自治振興協議会	神社敷地内の定期的な清掃等 神社見学者に対して、地元住民のボランティアによる説明会の実施 年中行事での参拝奉納	岩手県第1号指定の有形文化財を中心として、歴史の面影を残す景観となっている
58	最後の33番打ち収め札所本宮寺	鬼柳町都鳥66-1	鬼柳町自治振興協議会	地域のお寺の保全と環境整備 年中行事での参拝奉納	お寺を中心とした地域住民による継続的な景観づくりについての意向がある
59	もののふの神 白鳥神社	鬼柳町六軒地内	鬼柳町自治振興協議会	毎年定期的に住民が総参加で除草等の清掃作業を実施	和賀氏の守護神の白鳥神社、そしてその面影を残す樹齢300年のサワラによって良好な景観を保っている
60	白狐伝説 下川原稲荷神社	鬼柳町下河原地内	鬼柳町自治振興協議会	地域の守護神である神社の保全と環境整備 昔ながらの祭りや年中行事での奉納	地域の宝の神社を中心として、田園地帯の良好な景観が保たれている
61	六軒 湧水さかさ水	鬼柳町六軒地内	鬼柳町自治振興協議会	湧水の管理組合が中心となり、清掃等の実施	鬼柳六軒の段丘下からの湧水が、灌漑開拓の独自で良好な景観を保っている
62	生き物の生息地 親和ビオトープ	上鬼柳2-257	鬼柳町自治振興協議会	地元子供から大人までビオトープ観測の実施 地域住民による環境整備	ビオトープの生物生息空間として地域の住民によって整備され、多くの市民が訪れる良好な景観を保っている
63	五穀の神 見渡神社	上鬼柳2-52-1	鬼柳町自治振興協議会	毎年定期的に住民が総参加で清掃作業を実施 地域住民によるつつじの植栽等の環境整備	地域を一望できる眺望と整備された環境、そして境内を囲む樹木によって良好な景観が保たれている
64	曹洞宗 最古刹の伝法山正覚寺	上鬼柳5-232	鬼柳町自治振興協議会	お寺の檀家や地域住民による周辺の環境整備 法話会、座禅会及び芸能発表会を地域檀信徒を中心に実施	地域の歴史・文化の拠点でもあるこの場所は、境内の古木によって良好な景観を保っている
65	イチヨウ古木のある憩いの地 鬼柳八幡神社	鬼柳町荒堰40-1	鬼柳町二区会	地元の例大祭での芸能奉納、花壇及び環境整備	神社境内の樹齢600年のイチヨウの古木を中心として環境整備を行い、歴史を感じられる良好な景観をつくっている

## ＜平成22年度 きたかみ景観資産 一覧＞

No.	名称	所在地	団体名	現在の景観づくりに関する活動	景観の内容
66	やすらぎの広場「鬼柳白鬚神社」	下鬼柳7-171	鬼柳町一区会	枝払い・間伐などの環境整備と例大祭や花見、説明版の作成など景観を楽しむための取り組みを行っている	鬼柳町南側の東端に位置し、そこからは鬼柳地区はもとより市街を一望できる。また、釣垂れの岩や亀岩など奇岩や銘木が多数存在する
67	岩溪からの北上川上流の眺望	黒岩27地割地内	黒岩自治振興会	年2回住民が総参加で県道及び自転車道の草取り等の清掃作業を実施	伝説の七ツ石や蛇石が一望でき、北上川の流れと岩場そして周辺の山々によって良好な景観をつくっている
68	子ども達の親水空間 黒岩ビオトープ	黒岩16地割地内	黒岩自治振興会	年3回住民が総参加で整備作業を実施	子供達がビオトープを感じられる良好な景観を保っている
69	北上最後の渡し場 黒岩船場	黒岩18地割地内	黒岩自治振興会	地域民による年間を通しての草刈りや清掃等の実施	渡し場があったこの地には、黒岩街道の起点及び黒岩留め跡などがあり、歴史的な景観を有している
70	黒岩の原風景 湧口の清水と棚田	平沢9地割地内	黒岩自治振興会	地域住民による環境整備の実施 黒岩八景を活かした地域づくりを地域計画で取り上げ、景観の維持・活用を地域全体で取り組んでいる。	豊富な湧水量と眼下に広がる棚田によって、良好な農村景観を見ることができる
71	古道鷹巣街道の面影残す小滝さん	黒岩27地割地内	黒岩自治振興会	地域住民による環境整備の実施 黒岩八景を活かした地域づくりを地域計画で取り上げ、景観の維持・活用を地域全体で取り組んでいる。	古道そばの小滝さんによって良好な景観が保たれている
72	黒岩四十九里五輪塔	黒岩9地割地内	黒岩自治振興会	地域住民による環境整備の実施 黒岩八景を活かした地域づくりを地域計画で取り上げ、景観の維持・活用を地域全体で取り組んでいる。	塚があったこの地から薬師堂と天王山を眺望することができ、農村景観を楽しむことができる
73	和賀氏の歴史を伝える千曳城跡(黒岩城)	黒岩18地割地内	黒岩自治振興会	地域住民による環境整備の実施 黒岩八景を活かした地域づくりを地域計画で取り上げ、景観の維持・活用を地域全体で取り組んでいる。	北上川に突き出ている城跡は、和賀氏の歴史を感じるとともに圧倒的な景観を有している
74	展勝地と市街地を望むウォーキングコース	立花地内	立花自治振興協議会	地域住民によるウォーキングコースの整備、MAP作成や案内板の整備	立花自治振興協議会で新設した展勝園から博物館につながるウォーキングコースからは、展勝地や北上市街地を一望できる
75	里山文化を今に残す多岐神社	立花地内	立花自治振興協議会	地域住民による刈り払い、ウォーキングコースの作成、MAPづくり、案内板の設置	“都にて聞きしにまさる多岐の宮峯の古木に照らす月影”と詠われ、里山の文化と立花の歴史を感じる景観を今も残している
76	北上を一望 新山観音堂	立花地内	立花自治振興協議会	地域住民による刈り払い、ウォーキングコースの作成、MAPづくり、案内板の設置	新山観音堂は新渡戸稲造ゆかりの神社であり、急な斜面の中腹に位置したこの境内からは、遠く岩手山まで望むことのできる眺望点となっている